

分科会	小5年	郡市名	豊田
提案者	豊田市立 巴ヶ丘 小学校		岩崎 美樹

社会に参画していこうとする子どもの育成をめざし、

仲間と関わりながら問題の解決を図る社会科の授業

一森林を守る人の想いにふれ、身近な問題として自分の考えをもつ社会科の授業を通して一

1 はじめに

下記は前期の単元「わたしたちの生活と食料生産」で、子どもから出された感想である。

- ・農業や漁業をやっているのは高齢者ばかりだから、もっと若い人がはたらけばいい。でも、自分はいやだな。
- ・輸入をちょっとやめる。日本人たちの食べ物は、自分たちで作ればいい。
- ・パンを食べないようにして、お米を食べるようにする。でも朝ご飯はパンがいいな。

このように、農業や漁業に問題があるのはわかるが、その問題に対しての考えは浅い。人の気持ちや想いにまでは気付かず、自分たちの問題として根拠をもって考えていない現状がある。また、自他の意見の共通点・相違点を判断し、自分の考えを深めきれない様子も見受けられる。このような子どもたちに、社会科の学習で現地調査を行い、林業の仕事に関わる人にインタビューしたり、グラフの数値や地図から現状を読み取ったりすることで、現在の社会的事象に、より興味をもって追究できるのではないかと考えた。

その事象にかかわる人々の想いや願いにふれて自分の考えをもつことで、話し合い活動も活発になり、いろいろな立場の人々と想いを共有するとともに、同じ想いで行動しようとするような、社会に参画していく子どもを育てられるのではないかと考え実践した。

2 研究の基本的な考え方

(1) 目指す子ども像

- ・相手の立場に立って考えられる子ども
- ・根拠をもって自分の考えを発言したり、友だちの意見から考えを深めたりできる子ども
- ・社会問題を身近に感じ、自分なりの考えをもって行動できる子ども

(2) 研究の仮説

研究テーマの実現に向け、次のように仮説を立てて取り組んだ。

<仮説1>

現地調査を行って、対象になる森林や森林に関わる身近な人の想いを生で見たり聞いたりすれば、それぞれの子どもの問題点が見え、相手の立場に立って考え始めるようになるであろう。

<仮説2>

現場や資料から見つけ学習を行って、根拠をもった上での話し合い活動の場を設定すれば、自他との共通点や相違点に気づき、いろいろな考え方で社会問題を考え、判断することができるであろう。

(3) 仮説を支える手立て

次にあげる手だてで研究し、仮説の検証を行う。

<仮説1> 「現地調査」に対する手だて

手だて① 子どもが問題意識をもてるような地域教材を取り入れた単元を構想

クラスの中に実際に山を持ち、林業に携わっている家庭で育つ子どもがいる。また、それを支えている森林組合などの人たちにくりかえし関わっていくことで、自分の近くにも社会的な問題があり、その解決のために組織的に活動していることに気づくだろう。

手だて② 振り返りと学習視点の明確化

校外学習を行うときには、自分の課題を解決するため、見学する視点とどんな質問をするかが大切である。実際に行く前に、学級で課題を確認し、校外学習としての目標をもち、そしてどんな視点で見学してくるのか、どんな質問をすれば自分たちの求めている答えが聞けるのかを、学級で話し合い共通理解するようにする。そうすれば、自ら問題意識をもつことが苦手な子どもでも、目的をしっかりとって校外学習に臨めるだろう。

<仮説2>「関連資料の活用や携わる人々の想いに気づく活動」に対する手だて

<p>手だて③ 子どもの見つけ学習から課題を選出 子どもたちが生活の中や学習を進める中で見つけてきたことから、疑問や考えを抽出し、全体の学習課題を見つけていくことで、子どもが意欲的に取り組めるようにする。</p>
<p>手だて④ 授業軌跡の揭示 授業を進めるごとに考えを深いものにするためには、一つ一つ疑問を解決していき、また新しい疑問に向かっていく必要があると考える。学校生活の中や授業後などに森林に対する疑問や考えが出てきたら、いつでもそれを書きとめて入れられる「木になる・ふし木BOX」を作る。次時の授業の前までに揭示することで、子どもたち自らが追究したい課題を意識するようになるだろう。また、これまでの授業の流れも確認することができ、根拠をもって発言ができるようにする。</p>
<p>手だて⑤ 関連グラフや資料の活用 年ごとのグラフの変動から気づいたり資料から自分の知りたいことを見つけたりして、話し合い活動で意見を述べる際の材料にする。</p>
<p>手だて⑥ 社会問題に対して自分たちにできることを考える場の設定 社会問題に対して、一人の子どもが大きなことができるとは考えがたい。しかし、抱えている問題に対して、今の自分にできることを考える時間を設けることは、これからの自分の生活に目を向けることにつながり、少なからず意識していくであろう。また、自分とは違う友だちの意見を聞くことで、より深く考えをもつことができるだろう。</p>

(4) 抽出児童の設定

抽出児童Aを選び、手だてによって変容する姿を追い仮説の検証を行う。抽出児童として選んだAはクラスの中心的な人物であり、活発で授業での発言も多い。教師が出した課題にはしっかり取り組むが、自分が苦手なことや自分で課題を見つけて取り組む活動になると「もう無理」という後ろ向きな発言をしたり、「まあいいや」という気持ちが前に出てきてしまったりする。Aの家庭は山をもっており、何度か祖父と一緒に山仕事をしたこともある。だが事前に行ったアンケートの「山のよいところはどこだと思いますか。」の項目では、「CO₂を酸素に変えてくれるところ。」と答えていて、山を誰よりも身近に感じふれあっているにもかかわらず、本で得た知識で答えていた。また、「なぜAの祖父は山の手入れを行っているのかな。」と投げかけてみると、「さあ。」という気のない返答であった。

このようなAに、課題意識をもたせ、友だちと話し合い活動を行いながら、とことん自分の課題を追究し、大きなことから身近なことを見つめ、大きな事象を考えていってほしいと考える。そして、自分の家庭が持っている山に向き合い、今森林が抱える問題を知る中で、将来自分がこの山をどうしていきたいのか考えるきっかけにしてほしいと考えた。

(5) 単元構想(13時間完了)【他に総合的な学習の時間】

	学 習 活 動	◆教師の支援 *評価
つ か む	<p>①ふるさと遠足で下山の自然についてわかったことを発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木がきれいに並んでいたよ。 ・どんぐりがたくさん落ちていた。 ・保安林があった。 	<p>①-1 単元目標への到達具合を確認するために、事前アンケートを実施する。</p> <p>①-2 森林に目が向くようにするために、季節探しを行い、季節だよりを書く。</p>
	<p>②森林では、人々はどんなことをしているのか考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々とお金を出し合って森林を守っていた。 ・未来に残すことを目標に森林を守っていたよ。 	<p>②-1 日常の生活の中から出てきた森林の疑問を授業に生かすため、「木になる・ふし木BOX」を作り、書きとめる。</p> <p>②-2 自分たちの学習の流れや足跡がわかるようにするために、「巴っ子未来樹」を作り揭示する。</p> <p>*これからの学習の見通しをもつことができたか。</p>

調べる・深める	<p>③身近な森林を守っている人について知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の家も山を持っているよ。 ・木を切ったり、草を刈ったりしていたよ。 <p>④⑤山を見に行き、山を守っている人に話を聞こう</p> <p>⑥森林を見ての意見交流をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木や竹を切ったりする山の仕事を知ったよ。 ・山を守っているのは、未来に残すためだよ。 ・荒れた木は売れない。良い木を育てたい。 ・山をきれいにするにはお金がかかるよ。 →森林組合の人が手伝ってくれるんだね。 ・お金がかかるのに、なんで森を守るのかな。 <p>⑦森林組合の人の仕事を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐や枝打ち、植林など仕事をしているよ。 ・なんで木が売れないのかな。 <p>⑧人工・天然林面積の変容グラフを読み取ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフから、天然林が減って人工林が多くなっている。 ・人工林が増えるのはいけないのかな。 <p>⑧外国産の木材と、国産の木材を比べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国産の方が値段が安いね。 <p>⑨森林に関わる人たちの変化をグラフから読み取ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林を守る人がどんどん減っている。 ・下山も、森林を守る人がいなくなるかも。 ・森林を守るためにはどうすればいいのかな。 ・これから山を守る人がいなくなったら下山の森林はどうなるの。 	<p>③-1 自分の身近にも森林を守っている人がいることに気づかせるため、家庭で山について調べる場を設ける。</p> <p>④⑤-1 森を守る人たちに興味をもたせるために、地域の方に、「森林組合」というキーワードを出していただく。</p> <p>④⑤-2 日本の林業の問題点について考えるきっかけを与えるために、苦労や困っていることを話していただく。</p> <p>⑥-1 次の学習課題をはっきりさせるため、わかったことや疑問に思ったことをしっかり分ける。</p> <p>*見学を通して、工夫や努力、苦労に気づくことができたか。</p> <p>⑦-1 ゲストティーチャーには過去と現在の変化の大きさを感じるために、数字でわかるグラフや地図などを活用して説明していただく。</p> <p>⑧-1 日本の林業の問題点に気づくために、外国の木材の値段と日本の木材の値段を比べる。また、生産者と消費者の立場のちがいをゲストティーチャーに話していただく。</p> <p>⑨-1 これから林業に関わる人たちがどう変化していくのか予想させるために、グラフを掲示し、減少の流れを見る。</p> <p>*インタビューや資料から、これからの森林の問題点に気づき、自分の考えをもとに意見を述べることができたか。</p>
社会に参画する	<p>⑩調べたことでの意見交流をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下山の森林には、たくさん問題があった。 ・お金がかかり、山を守っていくのは大変だ。 ・なぜ、守っていかないといけないのかな。 <p>⑪⑫森林の役割を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りに木で作られたものがあるよ。 ・森林は水を蓄える働きがあるね。 ・二酸化炭素を吸ってくれて、空気をきれいにしてくれる。 ・動物たちの住処になっている。 ・土砂崩れを防ぐ保安林や防砂林や防風林があるよ。 ・森林がなくなると大変。森林をこれからも大切していきたい。 <p>⑬森林を守るため、自分たちにできることを考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林をきれいにする手伝いをしたいね。 ・森林のよさをアピールしたらどうかな。 ・間伐材から、ものづくりをしたい。 ・将来、自分も山を受け継いで、未来によい森林を残していきたいな。 ・これからも、おじいちゃんと一緒に森林の手入れをしていきたいな。 ・森林を未来に残せるように守っていきたい。 	<p>⑩-1 自分のわかったことや林業の問題点を根拠をもとに話せるように、振り返りを見返したり、教室に掲示している学習の流れを確認したりする。</p> <p>⑪⑫-1 森林の良さや役割を再確認するために、国語単元「森林の役割」や理科単元「水の流れ」を振り返ったり、森林にかかわる人の話をもう一度ビデオで聞いたりして確認する。</p> <p>⑪⑫-2 身近な問題としてとらえるために、自分は将来下山の山を守りたいか、そうではないかを意見討論する。</p> <p>*これまでの学習から根拠をもって意見を言うことができたか。</p> <p>⑬-1 より深い林業に関わる人の想いや苦労、課題を考えるために、仲間学習の場を取り入れる。</p> <p>*自分なりの方法を考え、活動することができたか。</p> <p>*これからの自分の生活と森林とのかかわりを感じ、将来の自分についての考えをもつことができたか。</p>

本 時 (6 / 13)

(1) 目 標

- ・山の森林の手入れをしている横山さんの思いを知り、自分たちの疑問を解決するとともに、新しく出てきた課題を話し合う

(2) 準 備

教師・・・電子黒板、見学時のビデオ、見学時の森林の写真、森林に関する図書室の本

児童・・・見学ノート

(3) 展 開

	学習活動	教師の支援・指導上の留意点
課題をもつ15分	<p>1 横山さんの山を見学し、インタビューして気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木にはいろいろな種類がある。広葉樹・針葉樹（スギ、ヒノキ） ・いろいろな道具を使って間伐や枝うちをしていたよ。 ・整備をしないと木が枯れてしまうからいけないよ。災害を防ぐのに木は役立っているよ。二酸化炭素→酸素に ・木で作る家が売れなくなって困っていたな。山を持っていても得がないって言っていたのにどうしてやるのかな。 ・森林組合の人たちが、山の整備を手伝ってくれるよ。 ・森林をきれいにする人が減ったって聞いていたけど、それはどうしてなのかな。 ・保安林は17種類ぐらいらしいよ。どんな種類があるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学で気づいたことや学んだことを自信をもって発表できるように、ノートを見て振りかえる時間をとる。 ・全員で学んだことを共有できるように、見学しているときの写真を掲示する。 ・意見の関わり合いを作るために、ネームプレートを活用する。
考えをもつ・学び合う25分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">自分の「木になる・ふし木」を出し、調べる方法を考えよう。</div> <p>2 新しく出てきた疑問を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔はどれくらいの方が林業をして、今はどれくらいの人たちが下山でやっているのかな。 ・保安林の種類を調べたいな。 ・木はどれくらい売れるのかな。昔と比べてどう違うのかな。 ・下山にはどんな木の種類が多いのかな。 ・森林を整備するためにはどれくらいお金がかかるのかな。 ・どれくらいの山が今荒れているのかな。 ・森林組合の人たちの仕事を知りたい。 <p>3 もっと森林のことを知るためにはどうするか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一度山に行って話を聞いたらどうだろう。 ・森林組合の人たちが木を売ったり、苗木をくれたりしていたから、森林組合の人に聞いたらどうだろう。 ・パソコンで調べたらどうかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの意識が、林業に携わる人たちの悩みや苦勞に視点が行くように、見学に行ったときのビデオを見返す。 ・自分の課題を見つけられるように、ノートを見る時間を設ける。 ・自分の意見に自信がもてるように、ペアになり話し合う時間を作る。 ・子ども同士の意見に関わり合いができるように、話し合い隊形を取り入れる。 ・話が聞ける人を探せるように、参考になる本を教室に置いておく。
振り返る5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">次は、森林組合の人に話を聞いてみたい。</div> <p>4 今日の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい「木になる・ふし木」がでてきたよ。いろいろな人に話を聞いて解決していきたいな。 ・森林組合の人に話を聞いて、森林のことをもっと知りたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の課題に向かって意欲的に進んでいけるように、板書を振りかえさせ、重要な言葉や考えは色を変えて板書しておく。